

<b>〔科目名〕</b> 経済演習Ⅱ	<b>〔単位数〕</b> 4単位	<b>〔科目区分〕</b> 演習科目				
<b>〔担当者〕</b> 山本 俊		<b>〔授業の方法〕</b> 演習				
<b>〔演習テーマ〕</b> 金融に関する基本的な経済分析の実践						
<b>〔演習内容〕</b> 金融に関連する理論や制度、政策、さらには地域金融機関及びその営業地盤について、学生の関心のあるテーマを取り上げ、それらの課題や対策などを学修します。						
<b>〔科目の到達目標〕</b> ・金融に関する基本的な経済分析の方法に親しみ、PC を用いて実践できるようになること。 ・実践した分析方法を自らが設定した問題にも応用したり、分析結果を大会等で発表したりできるようになること。						
<b>〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕</b>						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3 ○	DP4 ○	DP1 ○	DP2	DP3 ○
<b>〔前提条件〕</b> 特になし。 ただし、不足する知識や技能があれば(演習内でも補足はするものの)積極的に補う姿勢があること。						
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> ①中間課題(小テストまたはレポート):30% ②最終課題(レポートまたはプレゼン):70%をもとに評価します。評価のポイントは以下のようです。 ・学修したことを正しく理解し、活用できるか。 ・学修したことを適切な問題に応用できるか。 ・レポートやプレゼンは標準的な要件を満たしているか。						
<b>〔教科書等〕</b> 特に使用はしません。演習と密接な参考書を示しますので、学修の参考としてください。 ・金融全般の確認 ①内田浩史『金融 新版』有斐閣、2024 年。 ②福田慎一『金融論』有斐閣、2024 年。 ・ファイナンス理論の確認 ツヴィ・ボディ、ロバート・C・マートン『現代ファイナンス論』(原著第 2 版)ピアソン桐原、2011 年 ・地域金融や地域金融機関の確認 金融仲介の改善に向けた検討会議(金融庁)「地域金融の課題と競争の在り方」、2018 年 ・地域金融機関の営業地盤、地域産業の分析方法に関する確認 ①今喜典編著『ポストコロナ期にむかう青森県の産業』蒼天社出版、2023 年 ②砂堤津耶『例題で学ぶ初歩からの計量経済学 第 2 版』日本評論社、2007 年						
<b>〔実務経歴〕</b> 特になし						

授業スケジュール

時期	テーマと内容	
1-5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心のあるテーマの選定</li> <li>・関心のあるテーマに関する基本的な文献の探索(教員との相談)</li> <li>・関心のあるテーマに関して、考察を深める範囲を限定し、分析対象を絞る(教員との相談)</li> </ul>	
6-10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な文献の要約、報告(1巡目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察を深めるのに必要な分析方法の学修</li> </ul>
11-15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な文献の要約、報告(2巡目)</li> <li>問の設定(教員との相談)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>割引現在価値法や内部収益率法、回帰分析、フロンティア分析、産業連関分析など必要なもの</li> </ul>
夏休み期間を活用した「問いに対する答えへの接近」(適宜、各人のペースで!)		
16-20回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問に対する答えの報告(1巡目)</li> </ul>	
20-30回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問に対する答えの報告(2巡目)</li> <li>・発表準備(教員との相談)</li> <li>・発表を通じて得た課題への対策(教員との相談)</li> <li>・卒論執筆に向けた改善点の発見</li> </ul>	